昭和26年3月12日第3種郵便物認可　平成26年5月1日発行（毎月1日発行）第64巻 第5号
ISSN 0913-9850

2014 Vol.64

5月号

MONTHLY

かもつ

平成26年度（公社）鉄道貨物協会事業計画

12ft級無蓋コンテナで高圧受電設備を輸送
日東工業株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

日本貨物鉄道株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

我が国の貨物輸送の分野について、物資の安定・供給及び地球環境負荷（輸送量当りのCO_2排出量）の観点から、輸送方法の研究及び研究成果の普及啓発活動を行い、以って国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全に資することを目的とする。

JR貨物

価値を運ぶネットワーク

私達は鉄道貨物輸送を基軸としてその未来における新しい役割を認識するとともにより総合的な物・価値・情報の交流を創造しお客様の信頼に応え豊かな社会の実現に貢献します。

Index

表2 土木・建築遺産

1 平成26年度（公社）鉄道貨物協会事業計画
4 本部委員会の審議内容
6 第3回常任委員会を開催
7 エコレールマーク認定証贈呈式を開催　三井化学株式会社
8 幹事会・セミナーを開催　東北支部
協会からのお知らせ　本部／東京支部／名古屋支部
9 利用促進会議を開催　四国支部
幹事会・四地区合同利用促進会議を開催　水戸支部
企業見学会を実施　九州支部
10 貨物時刻表を支える人々　第3回
11 支部自慢　千葉支部

12 FREIGHT EYE

14 エコレールマーク認定企業紹介
株式会社ブルーエナジー
15 協会ニュース／リフレッシュクイズ

16 モーダルシフト　日東工業株式会社 中津川工場
20 貨物駅の仕事ガイド　鹿児島貨物ターミナル駅
22 JR貨物中期経営計画と平成26年度事業計画
表3 今月号の「表紙写真」　今月号の「FREIGHT EYE」
JR貨物輸送概況

公益社団法人 鉄道貨物協会

平成26年度 事業計画

わが国経済は、一昨年の政権交代後に断行された大胆な金融政策、機動的な財政政策の進行に伴い、極端な円高が是正され、輸出産業を中心に日本企業を取り巻く環境は好転に向かっていると言えます。今後展開される成長戦略の効果が期待されますが、消費税増税や円安傾向等による原材料などの高騰の影響も懸念されるところです。一日も早い「本格的な景気回復」を待ち望むところであります。

今こそ、国を挙げて各種総合的な施策と被災地復興への確実かつ迅速な取り組みが求められるとともに、地球温暖化問題への対応については、モーダルシフトの一層の推進のため、引き続き官民挙げての強力な取組みを推進していくことが必要であります。

こうした状況の中にあって、当協会は、国民の生活に不可欠な物資をより安定的に供給し、かつ環境負荷を低減させるため、貨物の輸送方法について調査及び研究を行い、その成果の普及啓発活動を通じて、国民の生活に不可欠な物資の安定供給と地球環境の保全を実現する事業を展開してまいります。主な活動は、以下のとおりです。

RAILWAY FREIGHT ASSOCIATION

1 本部委員会活動

平成26年度の本部委員会は、昨年度に引き続き「利用促進委員会」、「輸送品質向上委員会」の2委員会構成とし、活発な委員会活動を推進してまいります。併せて環境問題についても両委員会において、当協会の基本活動である「エコレールマーク事業」と連携して積極的に取り組んでまいります。

委員会審議テーマについては、荷主企業会員の声を反映させるなかで、一委員会2テーマの計4テーマを選定し、委員会活動を進めてまいります。

「利用促進委員会」2テーマ

① 年間テーマ
「鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた業種別の利用実態把握・課題の抽出と提案」

② サブテーマ
「鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究と提言」

「輸送品質向上委員会」2テーマ

① 年間テーマ
「鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた荷擦れ・荷崩れ対策に関する調査研究と提案」

② サブテーマ
「鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた防振資材の最適化検証調査」

なお、平成25年度本部委員会報告書を、鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進を図る目的で、広く全国の国公立等の図書館及び各都道府県、関係市町村に対し寄贈いたします。さらに、21年度から24年度までの4年間分の本部委員会報告書が当協会ホームページにて閲覧できることになり、25年度分についても掲載予定であります。

本部委員会合同企画見学会

2 「エコレールマーク」の普及

平成26年度のエコレールマーク普及推進の取り組みとしては、これまでの活動の充実を図るとともに、以下の活動に重点を置いて取り組んでまいります。

① 若い世代にエコレールマークを浸透させ、将来を見据えた鉄道貨物輸送の利用拡大を図るために取り組んでいる「出張型教室」については、前年度の実績を踏まえ引き続き積極的に展開してまいります。より多くの箇所、地域での実施に取り組むほか、使用教材等の改善を図りさらに効果の高いプログラムへの進化を目指します。

② 支部と本部が連携して各種環境展等のイベントへの積極的な出展を継続していくほか、認定企業とコラボレーション（協同）して、スーパーマーケットのほかホームセンター、家電量販店等、様々な流通系チャンネルでのイベント開催に取り組み、エコレールマークの認知度向上につなげてまいります。

③ 商品認定を行っていない認定企業への商品認定の働きかけや、認定商品へのエコレールマーク表示の拡大などに引き続き取り組んでまいります。

そのほか、会誌及び「貨物時刻表」への掲載や、エコレールマーク看板の設置拡大及び各種メディアへの掲載等など、認知度向上へ向けて継続的に活動してまいります。

以上に加え、エコレールマーク事業の基盤を強固にするために、認定企業のフォローと新規認定の獲得に引き続き取り組んでまいります。この取組みを通じ26年度中に認定総件数300件を確実に達成するとともに、取組企業認定100社を目指してまいります。

エコレールマーク出張型教室の実施

エコプロダクツに出展

3 支部活動の活性化と充実

各支部にあっては、協会を構成する三者（荷主企業・利用運送事業者・鉄道事業者）を主軸として、支部活動の更なる活性化と充実に努める中で、広く一般消費者や一般企業への働きかけも積極的に行い、地域経済の発展に寄与すべく活動を推進してまいります。

その取り組みの一環として取組んでいる各支部の「利用促進会議」については、各地域における鉄道貨物輸送の利用促進や輸送品質向上に関する身近な課題を継続的に検討する場として、引き続き活発に開催してまいります。

本部としても、本部委員会である「利用促進委員会」「輸送品質向上委員会」と連携して、各支部の「利用促進会議」の更なる充実を図るべく積極的に参加し、支援してまいります。また、イベントへの参加等の支部活動についても、さらなる活性化を目指して支援を継続してまいります。

（1）地域に即した「利用促進会議」との連携強化

各地域における鉄道貨物輸送の生産性や利便性に関する問題等を継続的に検討する場としての、各

支部「利用促進会議」については、本部委員会との一層の連携強化を図ってまいります。

(2)「エコレールマーク」の普及に向けた取組み

各地域における環境イベント等への参加、各支部開催の諸会議などを通じて「エコレールマーク」の制度並びに活動状況を紹介することにより、認知度の向上を図ります。また、認定企業への制度参加要請活動を支部レベルでも引き続き積極的に推進してまいります。

(3) 鉄道コンテナ基礎知識等各種講習会の開催

各種講習会を通じて、実務者の知識を深めていただき、鉄道貨物輸送の利用促進につなげてまいります。

(4) 講演会、セミナーの開催

各支部において、環境にやさしい鉄道貨物輸送を一般社会の皆様により身近に感じていただくことを目的に、有識者による講演会やセミナーを開催してまいります。なお、開催について協会ホームページ等で一般に周知し公開してまいります。

(5) 物流施設及び企業見学会の開催

普段見る機会の少ない物流施設、製造工場などの見学会を会員特典の一つとして引き続き実施し、会員等各社の今後の業務に役立てていただきます。

また、会員等相互の情報交換の場として活用していただくことで、鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進につなげてまいります。

利用促進会議

講演会

4 会誌マンスリーかもつの発行

「マンスリーかもつ」は、会員等相互の情報交換の場を提供する媒体としての役割のみならず、当協会の諸活動を社会一般に公開し、鉄道貨物輸送の利用促進を推進するという使命を担っています。下記の内容の充実を図り、より広く社会へアピールできる会誌を目指し、編集・発行を継続してまいります。

(1) 本部委員会活動を一般へ幅広く紹介

(2) エコレールマーク認知度向上活動の積極的なPR

(3) 地域社会と連携した支部活動の紹介

(4) 鉄道貨物輸送の応援団である会員企業等の紹介等

5 貨物時刻表の発行

2014時刻表

貨物時刻表は、列車運転時刻のご案内だけでなく、当協会の公益法人としての活動や鉄道貨物輸送の実態をいろいろな角度から紹介し、鉄道貨物輸送を広く国民の皆様に知っていただき親しんでいただくための広報媒体でもあります。「2014貨物時刻表」は、平成26年3月ダイヤ改正後の最新の列車運転時刻表を詳細に掲載しているほか、巻頭ページでは当協会の取組みや、鉄道貨物輸送の様々なトピックスを紹介し、読者全般に対して鉄道貨物輸送の良さをアピールし、更なる認知度向上の強化を図っております。なお、次の「貨物時刻表」についてはJR貨物のダイヤ改正に合わせて作成する予定です。書店等での販売や図書館等への寄贈を通じ、発行の目的達成に努めてまいります。

6 会員等増加運動の推進

環境負荷が少なく国民の生活物資を大量に安定供給できる鉄道貨物輸送の利用を推進する応援団を幅広く増やすために、公益事業と認定された当協会活動のメリットを前面に出し、いろいろなツールや機会を利用し、会員等増加運動に取り組んでまいります。

7 本部表彰

協会事業の発展に功績のあった方並びに鉄道貨物輸送に貢献された方などを対象として、定時社員総会において、協会事業協力者表彰と鉄道貨物輸送功労者表彰の本部表彰を行います。

8 本部主催会議の予定

定時社員総会

(1) 常任委員会	4/10(木)	如水会館
(2) 理事会	4/24(木)	如水会館
(3) 平成26年度定時社員総会	5/26(月)	如水会館
(4) 平成26年度全国事務局会議	7/10(木)~11(金)	兵庫県
(5) 理事会及び評議員・支部長合同会議	11/17(月)	如水会館
(6) 本部委員会(利用促進・輸送品質向上)	各年8回	協会本部
(7) 委員長・副委員長会議	12/中旬	協会本部
(8) 本部委員会合同会議	3/中旬	未　定
(9) エコレールマーク運営・審査委員会	年3回程度	協会本部
(10) 平成26年度幹事長・事務局長会議	3/中旬	如水会館
(11) 会誌「マンスリーかもつ」編集会議	月1回	協会本部

本部委員会の審議内容

公益社団法人 鉄道貨物協会

第1回 利用促進委員会(H26.4.16)

委員会風景

近藤副委員長

中島委員長

委員会風景

平成26年度第1回利用促進委員会を開催し、委員長・副委員長の選出及び平成26年度委員会テーマの調査研究における具体的な活動内容等に関しての審議を行いました。

1.委員長・副委員長の選出について

□委 員 長　　中島　覚　(日本通運株式会社)
□副委員長　　近藤　隆夫(日本製紙株式会社)

2.年間テーマ『鉄道コンテナの利用促進に向けた業種別の利用実態把握・課題の抽出と提案』

現在、鉄道コンテナ輸送を利用している各業種において、利用の実態や利用拡大に向けた課題・要望をヒアリング調査、文献調査等で把握するとともに、業種別および個別企業ベースでの将来の利用見通しについても検討を行い、さらなる増送を図るための基礎資料とする。その調査により、現状では顕在化していない、鉄道コンテナ輸送の潜在需要について把握し、これら潜在需要を顕在化させる(すなわち、鉄道コンテナ輸送を利用してもらう)ための条件や課題を整理するとともに、主要業種ごとに鉄道コンテナ輸送の利用促進策について提案を行う。

3.サブテーマ『鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究と提言』

現在、鉄道コンテナ輸送を利用している荷主企業および利用運送事業者の中には、養生材にかかるコスト(原材料コスト、返回送コスト、処理コスト等)が大きな負担となっている企業も少なくないものとみられる。また、ストレッチフィルムなどの処理方法などについても苦慮している企業があるものと推察される。本調査研究においては、養生材の回収システムや処理方法に関するケーススタディを行い、現状における主要な養生材の回収システムや問題点などを把握するとともに、ストレッチフィルムなど、利用後廃棄処理される養生材の処理方法や問題点についても把握する。これにより、駅頭への養生材のストックを提案するための基礎資料とするとともに、荷主企業が養生材を利用・処理するための一助とする。

第1回 輸送品質向上委員会(H26.4.18)

委員会風景

澁谷副委員長

松田委員長

委員会風景

平成26年度第1回輸送品質向上委員会を開催し、委員長・副委員長の選出及び平成26年度委員会テーマの調査研究における具体的な活動内容等に関する審議を行ないました。

1.委員長・副委員長の選出について

□委 員 長　　松田　博和(日本貨物鉄道株式会社)
□副委員長　　澁谷　榮　(日本運輸倉庫株式会社)

2.年間テーマ『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた荷擦れ・荷崩れ対策に関する調査研究と提案』

鉄道コンテナ輸送における荷擦れ・荷崩れ事故に関しては、平成24～25年度調査において「コンテナ内装」及び「養生材」に焦点を当て、主に段ボール箱輸送時の状況について、先行研究分析、現地調査及びヒアリング調査により各種の分析を進めてきた。特にヒアリング調査については、荷主・利用運送事業者24箇所を対象とし、種々の課題を抽出し提案につなげる等、一定の成果を得ること

ができた。

しかしながら、段ボール箱以外の荷姿である板紙、巻取紙、紙袋及び一斗缶等の荷擦れ・荷崩れ事故に関しては、平成24～25年度調査において未着手となっており、調査の余地が残されている。

業種別という観点からも、この2年間で調査してきた食品や飲料、日用品に加え、紙製品や化学工業品等を調査対象に加えることにより、主要な鉄道利用業種を網羅的に捉えることが可能となる。その結果、荷擦れ・荷崩れに関するデータもさらに蓄積されていくことから、これまでの調査研究がより一層厚みを増すものと思われる。

以上の理由から、平成26年度は、段ボール箱以外の荷姿にも着目し、荷擦れ・荷崩れ事故防止に向けたさらなる提案を行うことを調査目的とする。

3.サブテーマ『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた防振資材の最適化検証調査』

平成24年度調査では「鉄道コンテナ輸送事故防止資材の効果検証調査」で鉄道輸送中における振動を抑制する機材の一例として防振資材の性能確認を行い、平成25年度調査では「鉄道コンテナ輸送時における輸送貨物の挙動把握調査」を行い、輸送中の製品状態を撮影することにより荷擦れ、荷崩れ事故が起こる状態を確認した際、防振資材の状況も把握した。その結果、上下方向には一定の防振効果が認められるものの、水平方向に関しては防振効果が小さいことが分かった。

しかし、輸送する商品によって防振効果に影響が生じることも分かってきており、汎用性の高い防振資材の検討が必要となった。サブテーマで検証してきた防振資材は貨物の積載量によって防振効果が異なることが推察されているため、積載量を踏まえた防振資材の設計を行い、汎用性が認められるものか検証する。

また検証には加速度値の計測だけでなく25年度調査同様、鉄道コンテナ輸送中におけるコンテナ内の製品状態を撮影し、加速度値と映像から防振効果を把握することを目的とする。

4.本部委員会年間スケジュール

平成26年　4月　第1回委員会
平成26年　5月　第2回委員会
平成26年　7月　第3回委員会
平成26年　9月　第4回委員会
平成26年10月　第5回委員会
平成26年11月　第6回委員会
平成27年　1月　第7回委員会
平成27年　2月　第8回委員会
平成27年　3月　本部委員会合同委員会

※利用促進委員会、輸送品質向上委員会の開催日時は個別設定

平成26年度 本部委員会 委員のご紹介

委員会機構、役職、氏名アイウエオ順
平成26年4月18日現在

利用促進委員会

役職	氏名	所属役職
委員長	中島　覚	日本通運株式会社通運部長
副委員長	近藤　隆夫	日本製紙株式会社印刷用紙営業本部長付部長
委員	飯島　義勝	全国通運株式会社鉄道部次長
委員	井石　明伸	アサヒビール株式会社物流システム部副部長
委員	魚住　和宏	味の素株式会社物流企画部専任部長
委員	小野　善明	日本貨物鉄道株式会社営業統括部担当部長
委員	金子　正彦	全農物流株式会社食料営業部長
委員	川邉　秀人	日清オイリオグループ株式会社生産・物流統括部全体最適化推進グループ主管
委員	小林　敬司	日本フレートライナー株式会社営業本部営業部長
委員	酒井　雅次	花王株式会社ロジスティクス部門
委員	鈴木　崇弘	国土交通省港湾局計画課企画室課長補佐
委員	園本　英孝	ハウス物流サービス株式会社営業推進部次長
委員	田中　昭生	株式会社日陸営業本部営業1部鉄道グループ部長
委員	田邊　道夫	国土交通省鉄道局総務課貨物鉄道政策室課長補佐
委員	西沖　茂	旭化成ケミカルズ株式会社物流部管理グループ
委員	花立　明	カゴメ物流サービス株式会社物流部長
委員	馬上成太郎	日本石油輸送株式会社コンテナ部マネージャー
委員	松本　佳樹	日本貨物鉄道株式会社運輸部輸送グループサブリーダー
委員	宮原　哲郎	国土交通省総合政策局物流政策課物流産業室課長補佐
委員	村田　俊行	公益社団法人全国通運連盟業務部長
委員	山口久美子	サッポロビール株式会社サプライチェーンマネジメント部企画グループ主任
調査機関	佐藤　信洋	株式会社日通総合研究所経済研究部担当部長
協会本部	開藤　薫	公益社団法人鉄道貨物協会常務理事業務部長（委員会幹事）
協会本部	井上　達明	公益社団法人鉄道貨物協会常務理事総務部長（委員会幹事）
協会本部	髙楠　真人	公益社団法人鉄道貨物協会業務部次長（委員会主査）

輸送品質向上委員会

役職	氏名	所属役職
委員長	松田　博和	日本貨物鉄道株式会社コンテナ品質管理部長
副委員長	澁谷　榮	日本運輸倉庫株式会社常務取締役営業開発部長
委員	阿部　航仁	日本貨物鉄道株式会社コンテナ品質管理部サブリーダー
委員	荒井　正志	王子物流株式会社企画業務本部企画部マネージャー
委員	荒井　正之	全国通運株式会社営業第二部長
委員	今橋　一樹	日本貨物鉄道株式会社営業統括部副部長
委員	江岸　靖夫	日本フレートライナー株式会社営業部次長
委員	大地　茂男	ユニキャリア株式会社営業統轄本部PDM部エンジン車中型・大型グループシニアマネージャー
委員	衣本　啓介	国土交通省鉄道局技術企画課技術開発室課長補佐
委員	小林　篤弘	日本通運株式会社通運部専任部長
委員	佐々木明宏	日本車輌製造株式会社輸機・インフラ本部品質保証部担当次長
委員	佐藤　勝裕	三井化学株式会社物流部業務グループ国内物流２チームリーダー
委員	田中　健一	センコー株式会社ロジスティクス営業本部関東営業部係長
委員	丹澤　寛	株式会社総合車両製作所営業本部国内営業部コンテナグループリーダー
委員	中村　和夫	極東開発工業株式会社直納部直需課課長
委員	西濱　公樹	公益社団法人全国通運連盟業務部次長
委員	原口　和也	菱重コールドチェーン株式会社営業本部技術部部長
委員	日野　将規	日本貨物鉄道株式会社保全工事部主席
委員	堀﨑　昌則	株式会社日立物流グリーンロジスティクス推進部部長補佐
委員	松浦　直也	日本石油輸送株式会社技術部副部長
委員	三宅　洋平	キッコーマン食品株式会社物流部物流企画課課長
委員	八木　典彦	日本パレットプール株式会社取締役関東ブロック統括関東支店長
委員	山本　和之	北越紀州製紙株式会社営業本部営業企画部課長代理
調査機関	後藤　秀之	株式会社ジェイアール貨物・リサーチセンター調査部担当部長
調査機関	中嶋　理志	株式会社日通総合研究所物流技術環境部輸送環境試験所所長
協会本部	開藤　薫	公益社団法人鉄道貨物協会常務理事業務部長（委員会主査）
協会本部	井上　達明	公益社団法人鉄道貨物協会常務理事総務部長（委員会幹事）
協会本部	髙楠　真人	公益社団法人鉄道貨物協会業務部次長（委員会幹事）

第3回 常任委員会を開催

●期日：平成26年4月10日（木）　●場所：如水会館（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

協会本部では、4月10日（木）如水会館において第3回常任委員会（本部委員会としての利用促進委員会と輸送品質向上委員会の上部組織）を開催した。

冒頭、米本理事長より各委員の日頃の協会活動へのご理解とご支援に対しお礼の挨拶があった。

引き続き米本理事長が議長となり、議題3項目が審議され、全て承認された。なお審議経過（抜粋）については、下記の通りである。

1.平成25年度本部委員会活動報告
- A.「利用促進委員会」
  - （1）年間テーマ：『鉄道コンテナの利用促進に向けた新サービスの検討と提案』
  - （2）サブテーマ：『大型トラックドライバー需給の中・長期見通しに関する調査研究』
- B.「輸送品質向上委員会」
  - （1）年間テーマ：『荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナの内装及び養生材に関する調査研究と提案Ⅱ』
  - （2）サブテーマ：『鉄道コンテナ輸送時における輸送貨物の挙動把握調査』
- C.本部委員会合同企業見学会の実施
- D.本部合同委員会の実施
- E.本部委員会報告書の寄贈

2.平成26年度本部委員会活動計画（案）
- A.本部委員会審議テーマについて
  - （1）「利用促進委員会」
    - a.年間テーマ：『鉄道コンテナの利用促進に向けた業種別の利用実態把握・課題の抽出と提案』
    - b.サブテーマ：『鉄道コンテナ輸送における養生材の効率的な回収システムについての調査研究と提言』
  - （2）「輸送品質向上委員会」
    - a.年間テーマ：『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた荷擦れ・荷崩れ対策に関する調査研究と提案』
    - b.サブテーマ：『鉄道コンテナ輸送の輸送品質向上に向けた防振資材の最適化検証調査』
- B.環境問題について
- C.各支部「利用促進会議」との連携強化
- D.合同企業見学会の実施
- E.本部合同委員会の開催
- F.本部委員会報告書の寄贈

3.その他（今後の本部計画等の報告）

4.質疑応答

米本理事長の挨拶

質疑応答の様子

左から米本理事長、渡辺物流部長、小久江CSR部長

エコレールマーク認定証 贈呈式を開催

企業認定・商品認定取得 三井化学株式会社

3月17日(月)に三井化学株式会社本社(東京都港区東新橋)において、エコレールマーク認定証贈呈式が行われました。この贈呈式は去る2月27日に開催された第30回エコレールマーク運営・審査委員会において、同社が取組企業としての認定及び「三井化学 アクリルアマイド」他8品目が商品認定を取得したことに対して行われたものです。

贈呈式では、冒頭当協会米本理事長から、今回の認定申請に対するお礼とエコレールマーク推進活動の取組みなどについて挨拶がありました。続いて国土交通省鉄道局総務課貨物鉄道政策室 榎本室長から、「日頃、三井化学様にはモーダルシフトを通じて、鉄道貨物輸送に多大なるご理解とご協力を賜り感謝している。行政として今後もエコレールマークを媒介として、地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を推進していく。」との祝辞があり、当協会井上常務理事総務部長が代読をしました。

次に、米本理事長より取組企業の認定証を三井化学 小久江晴子CSR部長へ、商品認定の認定証を同 渡辺晃彦物流部長へそれぞれ贈呈しました。認定証を受け取られた小久江CSR部長より「当社は多方面に渡り環境保護に力を入れている。その中で、このような認定をいただき大変ありがたく思う。今後もエコレールマークを通じて社会貢献をしていきたい。」とのご挨拶があり、渡辺物流部長からは「これまでもモーダルシフトを進めてきたが、今後も鉄道の力を借りて輸送量を増やしていきたい。」とのご挨拶がありました。

式は和やかな中で進められ、同社から「当社の大牟田工場では鉄道貨物輸送の専用線が敷かれ、100年以上の歴史がある機関車が現役として頑張っており、貨物鉄道ファンの間では有名な撮影スポットとなっている。」との話があり、協会から「毎年発行している貨物時刻表では、その専用線を走る貨物列車の投稿はよくあり、今年度版にも掲載されている。」など、貨物列車にまつわる話題で盛り上がりました。

また、贈呈式で出していただいたお茶のペットボトル容器や、同時期に認定を受けた菓子メーカーのパッケージなども三井化学社製であるとの話を伺いました。身近なところで様々な企業がつながっており、エコレールマーク事業がそのつながりの一助となれるよう、また一般の消費者への橋渡しとなれるように、今年度も積極的な活動を進めてまいります。

関係者一同で記念撮影

幹事会・セミナーを開催

東北支部 ●期日：平成26年2月19日（水） ●場所：ホテルメトロポリタン仙台（仙台市）

2月19日仙台市において当支部幹事39名が出席し、第3回幹事会を開催しました。

開催に際し、大橋幹事長（仙台臨海鉄道（株）代表取締役専務）による主催者挨拶の後、来賓のJR貨物永田執行役員東北支社長にご挨拶をいただきました。

続いて、坂地幹事より平成26年度の事業計画案・予算案が提示され、審議の結果原案どおり可決されました。

幹事会終了後は仙台地方通運業連盟と共催でセミナーが開催され、会員他約120名が参加しました。

冒頭、大橋幹事長と仙台地方通運業連盟 村上会長の主催側の挨拶で始まり、来賓のJR貨物永田支社長より「11月より潮目が変わりコンテナの需要が増えた」とのご挨拶がありました。

セミナーは二部構成で行われ、テーマはまさに“今でしょ！”、4月からの消費税増税と最近の異常気象をとりあげました。第一部は、「消費税転嫁対策等について」と題して東北経済産業局消費税転嫁対策室 曽根氏の講演があり、この4月からの消費税率引き上げに際し、円滑かつ適正に消費税を転嫁し拒否対策のないように具体例の解説もありました。第二部では、「東北の異常気象と温暖化について」の演題で、日本気象協会東北支局 五十嵐課長（気象予報士）より最近の予想外気象のメカニズムの解析がありました。

続いて行われた懇親会では、（公社）全国通運連盟 安原理事長の乾杯挨拶で始まり、会員同士意見交換し有意義な時間を過ごしました。

幹事会

セミナー

セミナーで挨拶する
村上会長

懇親会で挨拶する
安原理事長

協会からのお知らせ

本部より

昨年7月末～8月に歴代貨物時刻表の表紙が、ジュンク堂書店仙台TR店でパネル展示されました。今年も4月25日（金）～5月末まで展示しています。全国でここでしか見られないので、お誘い合わせの上、足を運ばれてはいかがでしょうか。

●ジュンク堂書店 仙台TR店
仙台市青葉区中央3-6-1
仙台TRビルB1F
電話 022-265-5656

東京支部より

6月1日（日）に暑いまちで有名な熊谷市で開催される、節電励行運動として広がりを見せている“クールシェア”のイベント「いいね！ 星川でクールシェア」にJR貨物と共同で出展します。当日は「エコレールマークちゃん」と、熊谷市のゆるキャラ「ニャオざね」さんが共演する予定です。お近くの方はぜひお出かけください。

● 日時：平成26年6月1日（日）11時～15時
● 場所：埼玉県熊谷市星川周辺地域
● 主催：社団法人熊谷青年会議所
電話 048-524-0440
ホームページ☞
http://www.kumagaya-jc.or.jp/

COOL SHARE KUMAGAYA

名古屋支部より

このたび稲沢青年会議所（愛知県稲沢市）がアイドルグループAKB48の人気曲「恋するフォーチュンクッキー」に合わせたダンスで稲沢をPRする映像を制作しました。有志の市民が市内の各箇所で踊った映像をつなぎ合わせて1曲分に収め、3月中旬よりインターネット動画サイト「you tube」に配信されています。

JR貨物稲沢地区の社員有志とともに当協会の「エコレールマークちゃん」もダンスに参加していますので、ぜひご覧になってみてください。

こちら☞
https://www.youtube.com/watch?v=ZXV4zBYUBgE

利用促進会議を開催

四国支部 ●期日：平成26年2月21日（金）　●場所：オークラホテル高松（高松市）

四国支部では、2月21日オークラホテル高松において利用促進会議を開催し、会員である荷主企業・利用運送事業者及びJR貨物等から27名にご出席いただきました。

初めに、近藤幹事長（日本通運（株）執行役員四国支店長）、JR貨物山名四国支店長のご挨拶に続き、以下の通り議事を進行しました。

1. JR貨物の最近の輸送実績
2. 平成26年3月ダイヤ改正ご案内
3. 鉄道貨物輸送に関するアンケートへの回答及び意見交換

質疑応答では、ダイヤ改正について会員より活発なご意見をいただき、約2時間に亘り熱い議論が交わされました。

挨拶する近藤幹事長

幹事会・四地区合同利用促進会議を開催

水戸支部 ●期日：平成26年2月25日（火）　●場所：三の丸ホテル（水戸市）

2月25日に三の丸ホテルにおいて、水戸支部第2回幹事会及び四地区合同利用促進会議を開催しました。

幹事会では、平成26年度事業計画と収支予算について審議を行い、原案通り承認されました。

四地区合同利用促進会議では、難波幹事長（日本通運（株）つくば支店長）の挨拶の後、ご来賓の関東運輸局茨城運輸支局 佐藤支局長、茨城県企画部地域計画課 小野瀬副参事、JR貨物関東支社飯田副支社長からご祝辞をいただきました。続いて当協会本部井上常務理事から協会活動について説明があり、JR貨物からは平成26年3月ダイヤ改正について及びコンテナ輸送拡大に向けての取り組みについて、お話をいただきました。

会議終了後は、JR貨物松田コンテナ品質管理部長により、「JR貨物によるコンテナ輸送品質向上の取組み」という演題で講演が行われました。貨物事故の発生データから現在取り組んでいる事故防止対策など、コンテナ輸送の品質向上の取組みについて、わかりやすくご講演をいただき、講演後も質疑が出るなど会員の関心の高さがうかがえる講演会となりました。

ご挨拶される
佐藤支局長

講演会の様子

企業見学会を実施

九州支部 ●期日：平成26年2月26日（水）　●場所：太刀浦コンテナターミナル・日産自動車九州（株）
（福岡県北九州市・京都郡苅田町）

九州支部では、2月26日に会員である荷主企業、利用運送事業者等から45名のご参加をいただき、利用促進会議の企業見学会として太刀浦コンテナターミナルと日産自動車の九州エリア生産拠点である日産自動車九州（株）を訪問しました。

第1と第2ターミナルからなる太刀浦コンテナターミナルは、昭和46年に西日本初となる田野浦コンテナターミナルの供用を開始、その後、太刀浦コンテナヤードに業務を引継ぎ現在に至ります。ここでは2班に分かれて、室内での施設の説明とマイクロバスから間近でコンテナの積卸し作業を見学させていただきました。そこで見たストラドルキャリアとガントリークレーンの素早い作業は、圧巻でした。

次に日産自動車九州を訪問しました。まずビデオで、日産自動車は九州と非常にゆかりのある会社との概況説明を受けた後、実際の車体組立ライン（一部除く）を見学させていただきました。一つの生産ラインで様々な車種のボディへ大小の部品を取り付けていく様子は、大変興味深いものがありました。

参加者の皆さまは、両施設とも間近で見学することができ、充実した一日となったようです。

太刀浦コンテナターミナルにて

日産自動車九州にて

貨物時刻表を支える人々

第3回

JTB印刷　福田 恒男さん、佐野 友子さん

今回は貨物時刻表の制作･印刷に携わっていただいたJTB印刷の福田さん、佐野さんにお話をお伺いしました。時刻表モノクロページの「運転時刻表」「機関車運用表」等はもちろんのこと、広く一般の方々にも鉄道貨物輸送を知っていただくため、巻頭カラーページ特集の制作も、鉄道貨物協会と一緒に行っていただきました。高い技術力による印刷・製本を経て、貨物時刻表は3月15日に発行となりました。

ー貨物時刻表に携わる前のご担当業務と、ご担当になった時の貨物時刻表の第一印象を教えてください。

（福田）旅行パンフレット等の印刷およびJR、私鉄、バスの時刻表を手掛けていました。貨物時刻表は、運転時刻表が中心にあり、それに付随するものが詳しく記載されていると思いました。

（佐野）旅行ガイド・書籍（「るるぶ」）の担当でした。貨物時刻表は情報が充実していて、すごいと思いました。

ー2014版貨物時刻表は2013版と比較して、「ここが変わった」という点をお伺いします。

（福田）巻頭カラーページの2013版は、パンフレットのイメージが強かったのですが、旅行用ガイドブックのように、誰にとっても読みやすい作りにしました。

（佐野）付録の卓上カレンダーは、個人的にも気に入ってます。風景と貨物列車のバランスが良く、是非みなさんの机の上に置いていただきたいと思います。

ー貨物時刻表の制作に携わられて、嬉しかった･良かったことは?

（福田）時刻表の取扱い書店の多くの店員さんから、「今年の時刻表は良いです。」というお言葉をいただいたのが嬉しかったです。今回貨物時刻表に携わらせてもらったことで、鉄道貨物輸送の知識も増えました。

（佐野）協会の皆さんと力を合わせて、時刻表のラフ案が原稿の形を経て、本になっていくのがとても嬉しかったです。

ー苦労された点や、気を付けた点について教えてください。

（福田）時刻表のページ構成が2月まで定まらず、カラーページとモノクロページの調整が大変でした。

（佐野）原稿の校正を行い、ミスなく時刻表を仕上げていくことに、細心の注意を払いました。

ー最後に、今後どのような貨物時刻表を作っていきたいですか?

（福田）貨物時刻表は単なる「運転時刻表」ではなく、「鉄道貨物輸送の総合ガイドブック」であるのが良いと思います。今後も良いアイデアを提案していきます。

（佐野）専門知識を持った方も、全く鉄道貨物輸送に興味がなかった方にも楽しんでいただけるように、貨物時刻表を読み物としても面白い作りにしたいと思います。

● 担当の **杉本 竜太郎さん** のお話

貨物時刻表に掲載している写真画像

「岡山出身なので、山陽線を走行する貨物列車をよく見ました。入稿された写真データを、忠実に印刷用に置き換えています。フォトギャラリーの写真でも長年の経験を生かして取り組んでおり、常に技術力が試されていることを感じています。」

～写真画像作業～

① 投稿された写真を印刷先のサイズに変換する

② 写真を印刷用データに変換する

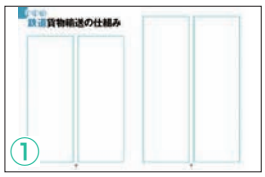
③ プリント写真を印刷用データに変換する際に付着したほこり等を除去する

● 担当の **江間 恭司さん** のお話

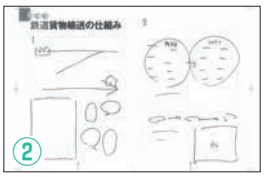
巻頭カラーページ・ポスター等のデザイン

「貨物時刻表の読者が、『読んでいて楽しい、読みやすい』『面白い』と言っていただけることを念頭に置き、2013版とは違ったデザインを制作しました。制作前に鉄道貨物協会と打ち合わせを行い、情報を共有化できたことが、今回のポイントでした。」

～デザイン作業～



① 巻頭カラーページのデザイン台紙



② 原稿を見ながら、おおまかなレイアウトを決める

③ 原稿や図のデータを組み合わせ、誌面の形にしていく

④ デザインの完成

支部自慢（しぶじまん）

京葉工業地域に位置し、生活物質から工業物資まで鉄道輸送の最前線

当支部は、JR貨物千葉営業所内に事務局が置かれています。以前はアクセスがよいJR千葉駅内に千葉営業支店の事務所がありましたが、千葉駅建替え工事の着手に伴い、平成22年7月に京葉臨海鉄道の千葉貨物駅構内へ移転しました。また、平成25年6月のJR貨物の組織改正に伴い、営業支店から営業所へ名称が変わりました。細やかな事務局運営が難しい現状ではありますが、関係方面のご協力をいただきながら、会員の皆様とより一層の連携を図れるよう努めて参ります。

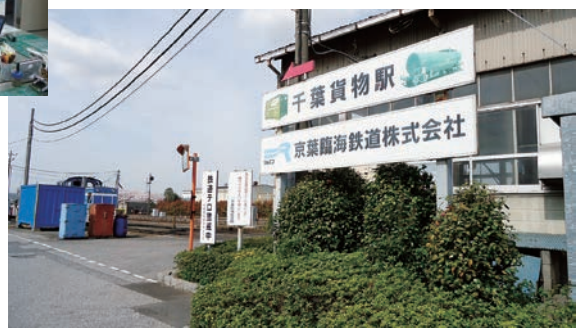
千葉営業所入口

千葉支部
〒260-0824
千葉県千葉市中央区浜野町1216
JR貨物　千葉営業所内
TEL 043-266-4731　FAX 043-266-4732

千葉営業所室内

●当支部エリア内の貨物駅ご紹介●

全国18支部の中でも珍しいと思いますが、当支部エリア内にJR貨物の貨物駅はなく、京葉臨海鉄道線の駅のみ存在します。各駅を出発した列車は、蘇我駅（千葉市）でJR線に接続しています。



■千葉貨物駅（千葉市）

昭和38年に村田駅として開業、平成8年の千葉貨物ターミナル駅休止により同駅業務が移管され、平成9年に千葉貨物駅へ名称が変更されました。3駅中、最も取扱いが大きく、駅構内には京葉臨海鉄道の鉄道本部や利用運送事業者の事務所が置かれています。

取扱品目として多いのは、旧千葉(タ)駅近くの食品コンビナートから出荷される食料工業品や化学工業品等の一般貨物です。

■玉前[たまさき]駅（市原市）

1面1線のコンテナホームと着発線1線の小規模駅です。

取扱いは12フィートのみとなっており、合成樹脂をはじめとした化学工業品の発送が多くを占めています。当駅は発送が多く到着が少ないため、コンテナ不足でご迷惑をかけないよう気を配っています。

■京葉久保田駅（袖ヶ浦市）

トップリフターが配備された千葉県唯一のISOコンテナ取扱駅で、近隣の京葉工業地域から出荷される化学工業品の発送が多いです。また、特定のお客様向けにコンテナ洗浄や在庫管理などの付帯サービスも展開しています。

蘇我駅西口より徒歩8分

フクダ電子アリーナ

蘇我はもともと製鉄会社の企業城下町ですが、Jリーグのジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアム「フクダ電子アリーナ」や商業施設等が建設され、様変わりをしています。

株式会社 ブルーエナジー

〒620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目37番地
http://www.blue-energy.co.jp

Keep the Blue Earth with clean Energy

美しい地球のままで子供たちへ子供たちへと引き継ぐために
私たちが今やるべきこと。

青く輝く美しい地球は今、様々な危機に直面しています。
そのひとつが温室効果ガスによる温暖化。
中でも影響が大きいといわれるCO_2への対策として、注目を集めているのが
電気自動車やハイブリット車などであり、それらが、さらに普及するため不可欠とされているのが、
リチウムイオン電池の技術革新です。

私たちは、リチウムイオン電池のさらなる性能向上や小型軽量化の実現とともに
ハイブリット車の普及促進に努めます。
それは、美しい地球を守り続け、未来の子供たちに渡すための
エネルギー新時代の幕を開く第一歩でもあります。
私たちは、リチウムイオン電池におけるリーディングカンパニーを目指し、
クリーンエネルギー社会を構築するための、大切な役割を担ってまいります。

私達株式会社ブルーエナジーは、株式会社GSユアサと本田技研工業株式会社が共同出資し、2009年に設立されました。
Keep the Blue Earth with clean Energy　青き地球と共に…を経営理念として、互いの伝統と技術を結集しハイブリット自動車(HEV)用リチウムイオン電池を開発・設計・生産しています。
環境に対する関心が高まる中、安全で高性能なリチウムイオン電池が注目される中、私達はクリーンエネルギーで社会に貢献します。

弊社では、2011年2月から、ハイブリット自動車（HEV）用リチウムイオン電池の量産を、京都府福知山市の長田野工場で開始しました。2013年度より、福知山から埼玉県の客先までの遠距離輸送が始まることもあり、渋滞や道路交通事情を心配せず納入までの時間管理がしやすいことに期待して、トラック輸送からCO_2排出量の少ない鉄道輸送に切り替えました。昨年1年間の実績では、輸送時間が正確であるという信頼性と100ton/年以上のCO_2削減の実績を得ることができました。その結果2014年初時点では、約90%の距離を鉄道輸送に切り替えることができています。
当社の商品は、通い箱にて輸送を行い、段ボールやプラスチックを廃棄物として出さない工夫をしており、梱包容器についても環境に配慮しています。当社が、このエコレールマークの認定を受けたことで、当社製品が搭載されたハイブリット自動車を、お客様にご購入頂くことで、お客様と私たち企業が一体となって、地球環境負荷を軽減する取組を推進しています。

協会ニュース

平成26年5～6月 行事等の予定

本　部

5月　7日(水)／会誌編集委員会(本部会議室)
5月21日(水)／第2回利用促進委員会
　　(梶ヶ谷貨物ターミナル駅・隅田川駅見学)
5月26日(月)／平成26年度定時社員総会(如水会館)
5月29日(木)／第2回輸送品質向上委員会(本部会議室)
6月　4日(水)／会誌編集委員会(本部会議室)

定時社員総会のご案内

■開催日時／平成26年5月26日(月)15時から
■開催場所／如水会館 2F「スターホール」
東京都千代田区一ツ橋2-1-1
電話：03-3261-1101
※会員の皆様は、5月9日(金)必着で
ご出欠の返信をお願いします。

支　部

●北海道支部　5月　2日(金)・3日(土)／JR貨物GWイベント in 千歳アウトレットモール・レラ
●新潟支部　5月17日(土)／新潟鉄道大感謝祭2014東新潟機関区一般公開
●東京支部　5月24日(土)／JRおおみや鉄道ふれあいフェア(大宮総合車両所)
　　6月　1日(日)／いいね! 星川でクールシェア(埼玉県熊谷市)
●近畿支部　5月10日(土)・11日(日)／吹田産業フェア(吹田市文化会館)
　　6月　7日(土)・8日(日)／レールエキスポ京都(ボークス京都本社)

平成26年度 支部通常総会開催予定(平成26年4月24日現在)

支部名	期　日	開始時刻	会　場
北海道	6月20日(金)	15:30	センチュリーロイヤルホテル(札幌市)
東　北	6月23日(月)	15:30	ホテルメトロポリタン仙台(仙台市)
新　潟	6月24日(火)	15:00	ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)
宇都宮	6月25日(水)	15:00	ホテルマイステイズ宇都宮(宇都宮市)
高　崎	6月16日(月)	15:00	ホテルメトロポリタン高崎(高崎市)
水　戸	6月16日(月)	15:00	三の丸ホテル(水戸市)
千　葉	未　定		
東　京	6月　3日(火)	13:40	芝弥生会館(東京都港区)
長　野	6月13日(金)	15:00	ホテルメトロポリタン長野(長野市)

支部名	期　日	開始時刻	会　場
静　岡	6月19日(木)	14:00	ホテルシティオ静岡(静岡市)
名古屋	6月17日(火)	14:00	名古屋商工会議所(名古屋市)
北　陸	6月10日(火)	15:30	ホテル金沢(金沢市)
近　畿	6月19日(木)	15:00	新阪急ホテル(大阪市)
米　子	6月18日(水)	14:30	米子ワシントンホテルプラザ(米子市)
岡　山	6月24日(火)	14:30	メルパルク岡山(岡山市)
四　国	6月　5日(木)	14:30	ホテルクレメント高松(高松市)
広　島	6月16日(月)	15:00	ホテル広島ガーデンパレス(広島市)
九　州	6月23日(月)	15:30	博多都ホテル(福岡市)

※各支部会員の皆様は、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いします。

今月号の「表紙写真」　撮影:石塚 恵

5月号は、5階建ての飯田町紙流通センター(IPC)新座屋上から見た新座貨物ターミナル駅構内です。ガリバーが小人国のコンテナを見下ろすと、こんな感じでしょうか。地上に降りれば、最大長2,200m、最大幅150m、総面積140,000㎡の構内は、全貌を見渡すのに苦労する広さです。写真は南向きで左が東方向、右が西方向。西側44kmに新鶴見信号所があります。上方の線路群は上端2線が武蔵野線の本線、その下方・北側に1～8番線が並んでいます。

今月号の「FREIGHT EYE」　撮影メモ:矢吹 通

山陽本線瀬野～八本松間は、明治27年の開業以来、「東の箱根、西の瀬野八」と言われるほどの急勾配区間で、難所とされてきた。全ての上り貨物列車は、広島貨物ターミナル駅から西条駅まで、列車の最後尾に後押し用の機関車が連結される。平成25年3月ダイヤ改正から、勾配後押し用には老朽化したEF67形機関車の後継機として開発されたEF210-300形機関車が活躍している。この機関車には連結器内にシリコンゴムを採用した緩衝器が搭載されている。

MONTHLY かもつ・5月号　第64巻・第5号　2014年(平成26年)5月1日発行(毎月1日発行)

発行／公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル4階
☎03-5256-0577　FAX03-5256-9220
鉄道貨物協会インターネットホームページアドレス http://www.rfa.or.jp

編集／ 公益社団法人 鉄道貨物協会・日本貨物鉄道株式会社
(株)ジェイアール貨物・リサーチセンター
印刷／(株)恒陽社印刷所活版事業部

2014 JR貨物時刻表

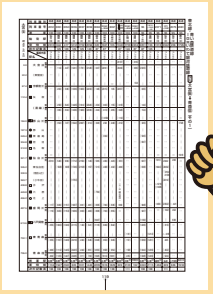
2,315円（本体価格）

好評発売中！

**2014貨物時刻表は、
以下の3つの特徴があります。
是非ご購入いただき、
環境にやさしい鉄道貨物輸送を
知ってエコに貢献しましょう。**

1 知りたい情報が盛りだくさん

・貨物列車の運転時刻表
・貨物列車ごと作業内容
（途中駅を含む）
・機関車配置表，運用表等

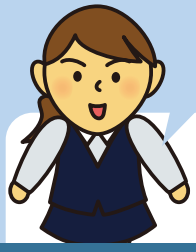


2 豪華付録がついてます

・2014年度卓上カレンダー
・貨物列車運行図表
（ダイヤグラム）

3 鉄道貨物輸送を分かりやすく記載

普段はなかなか目に付かない
鉄道貨物輸送について
分かりやすく説明しています



鉄道貨物協会
入会のお誘い

あなたも鉄道貨物輸送の応援団になりませんか？

ご入会されますと、下記の特典がございます。
詳しくは当協会までお問い合せください。

1 広報誌『マンスリーかもつ』を毎月配布　2 各種セミナー、講演会、見学会にご参加できます（ご入会の支部により内容は異なります）

エコレールマーク
環境にやさしい鉄道貨物輸送でCO_2削減に貢献する
商品や企業を表示するマークです。

公益社団法人 鉄道貨物協会

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4吹田屋ビル4F
TEL03-5256-0577　FAX03-5256-9220　ホームページ http://www.rfa.or.jp

MONTHLY かもつ
平成26年5月1日発行（毎月1回1日発行）昭和26年3月12日 第三種郵便物認可 MONTHLY かもつ 5月号 第64巻 第5号 本体価格400円（税・送料別 会員の購読料は年会費に含まれます） ISSN 0913-9850